

調査結果の概要

■ 平成29年度の成果

＜実施したこと＞

- 気候の変化や極端な気象現象が札幌の主要な祭り・イベントに対して与える影響について、過去の事例を調査し、影響相関図として作成(図11を参照)。
- 図11に示した影響相関図に基づき、過去～現在と21世紀中頃における影響の発現状況を簡易的な予測^{注1}を行い比較した。
- 比較結果を元に有識者を交えた影響の定性評価を実施した。

＜得られた知見＞

- 主要な影響と気象要素の相関関係、並びに簡易的な将来予測及び定性評価の結果が得られた。

注1:過去の影響の発生状況等から、各気象要素について基準となる値を設定し、将来の発生状況を推定した。

■ 明らかとなった課題

- 影響の評価を厳密に行うためには、経済的な損失額に加え、地域への経済的波及効果も加味して評価することが必要
- 影響の経済的評価を行うにあたっては、人口動態を考慮することが必要
- 雪まつりにおいて重要な積雪、融雪に関しては定量化手法の精緻化が望ましい
- 熱中症危険度をWBGT値で考える上では、地域性を考慮することが必要

■ 平成30年度の調査計画

- 定性評価の結果に基づき、地域にとって優先度の高い影響項目について、経済的評価手法を検討
- 経済的評価の実施

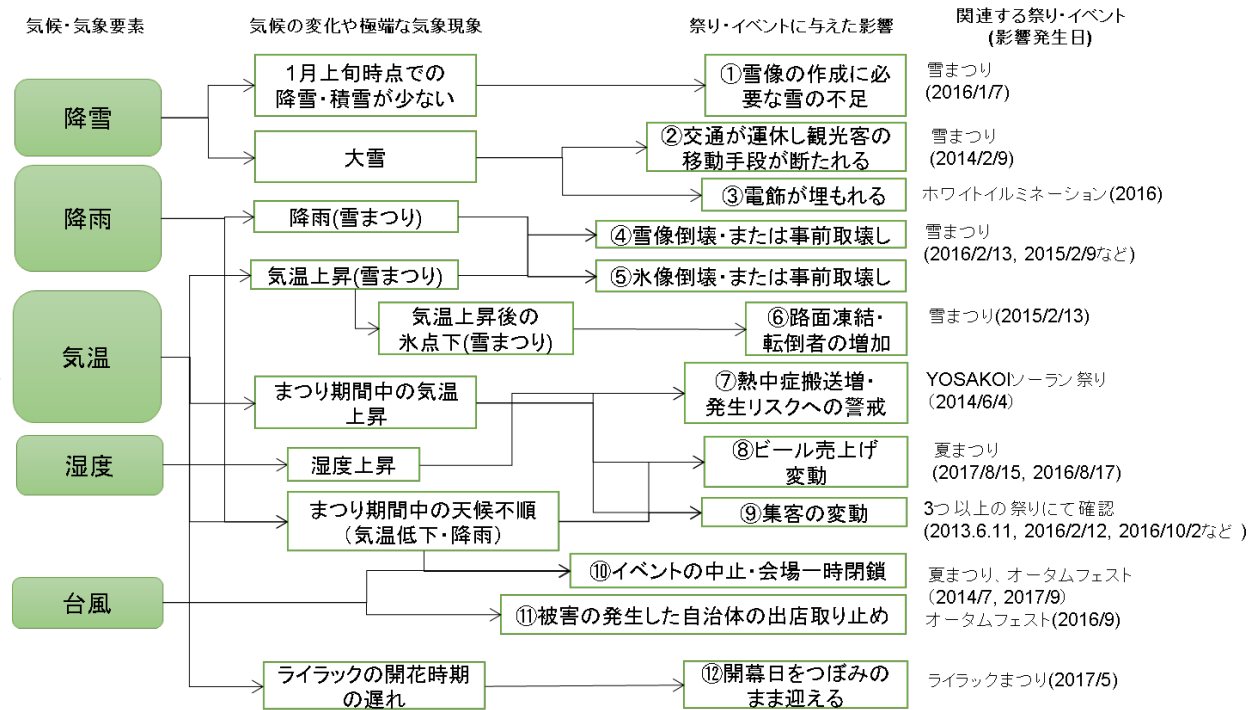


図11: 気候の変化や極端な気象現象が札幌の祭り・イベントに与える影響相関図 (日本エヌ・ユー・エス(株)作成)